

平成28年度 鳥取市議会報告会における市民からの要望回答表

1 執行機関への意見・要望

市民からの意見・要望	左に対する回答	担当部署
<p>地域防災計画の資料に避難場所が載っているが、鹿野町の鳥の劇場と公立鳥取環境大学が入っていない。鳥の劇場は耐震工事が終了したこと、環境大学は公立であることから避難場所にするべきではないか。</p>	<p>鳥取環境大学は、鳥取県において、県内全域に被害が発生する広域的な大規模災害に対応するための広域防災拠点施設として位置付けられていることから、鳥取市の避難場所の指定は行っていません。</p> <p>また、鹿野町の鳥の劇場は、劇場構造のため窓がなく停電の際に採光が確保できないこと、また施設の約6割に固定観客席や劇場機材が設置されるなど避難スペースも限られることから避難所としての指定は行っていません。</p> <p>以上のことから、この2施設については、現状のところ避難場所の指定は困難と考えています。</p>	<p>危機管理課</p>
<p>防災無線はデジタル化によって屋内放送設備が廃止されると聞いている。屋外放送は、聞こえない場合が多くある。告知放送を含めこれまでどおりの屋内放送を継続してほしい。</p>	<p>防災行政無線からの音声は、スピーカーからの距離、地形や周囲の状況、気象条件等さまざまな要因によって聞こえ方が異なる場合がありますし、早朝や夜間、冷房などで締め切った屋内にいる場合は、どうしても聞こえにくくなります。</p> <p>そのため、防災無線の放送が聴き取りにくかった場合でも、あんしんトリピーメールの配信や専用ダイヤル（0857-21-6100）、市公式ホームページ、ケーブルテレビなどで放送内容を確認できるようにしています。</p> <p>本市では、防災行政無線のほかにも、テレビ・ラジオへの依頼放送、携帯電話の緊急速報メール、CATVデータ放送、あんしんトリピーメール、ホームページで防災情報の発信を行っています。また、必要に応じて広報車や消防団、消防署等による現地での巡回広報を行います。</p> <p>なお、災害時には自ら様々な防災情報を入手することが、早期避難等の安全確保につながります。住民の皆様におかれましても、日頃から停電時も想定しながら、電池式のラジオ等も準備するなど積極的な情報入手に努めていただきますようお願いいたします。</p>	<p>危機管理課</p>

<p>災害時の避難場所として小中学校の校庭、体育館の開放を速やかに行ってほしい。1人でも犠牲者を出さないためにできることをお願いしたい。</p>	<p>災害時に学校施設を避難場所として利用する場合、学校職員が施設の開放を行うこととしています。また、休日や夜間などの災害発生の緊急時の開錠は、利便性を図るため希望する地元自治会等に対して学校の体育館の合鍵を貸与し、速やかな住民避難が行える体制としています。合鍵の貸与について希望する場合は、学校と協議をお願いします。</p>	<p>危機管理課</p>
<p>防災資機材の保管場所がない町内会への補助金のあり方の見直しを検討してほしい。例えばヘルメットの置き場所は各家庭などがいいと考える。</p>	<p>本市では平成26年度から28年度までの3か年間、各自主防災会が整備する防災資機材の整備に対して上限5万円の助成を行っており、多くの防災会でヘルメットの整備をしていただきました。</p> <p>整備した防災資機材の保管については、有事などで地域の住民が集まれば、誰でもすぐ防災活動に使用できる場所として集会所や町内の防災倉庫などを指定して助成金を交付していますので、地域で防災資機材を保管する場所の確保に努めていただきたいと思います。</p>	<p>危機管理課</p>
<p>備蓄品は、どこに何がどれだけあるのか、多くの市民が知らない。市民が情報を入手できるようにホームページで公開してほしい。</p>	<p>本市の備蓄品は、市の公式ホームページに保管場所と備蓄品目を公開しています。数量については、災害時の提供などで変動することもあり公開はしていません。</p> <p>(アクセス先)</p> <p>市公式ホームページ→危機管理課ホームページ→提供情報(災害に備える)→防災備蓄品について→連携備蓄品一覧表</p>	<p>危機管理課</p>
<p>佐治川ダムの放水時にはサイレンが鳴り、屋外放送もされる。大雨で夜中などは放送内容が聞き取りにくい場合がある。放送内容は総合支所に確認すればわかるのだが、支所に確認しなくてもきちんと情報が伝わるように検討してほしい。</p>	<p>鳥取県に確認したところ、屋外放送による情報伝達については、今後総合支所等と協議しつつ必要な対応を検討するとのことです。</p>	<p>都市企画課</p>
<p>佐治川ダムが決壊の恐れがあるという設定で、大規模な訓練をされたが、下流の2集落が対象であった。佐治町全域にかかわることなので今後は広く声かけをされてはどうか。</p>	<p>平成27年11月に鳥取市国民保護訓練を佐治地域を会場として開催しました。訓練想定では、国籍不明の武装グループが佐治川ダム事務所を占拠し、ダム爆破の恐れもあるため直下の2集落の住民を安全な場所に避難させる訓練を行ったものです。</p> <p>今後の訓練実施においては、多くの市民の方々が参加いただけるよう、幅広く声かけを行い取り組んでいきたいと思えます。</p>	<p>危機管理課</p>

<p>NHKラジオの第1放送が入りにくい。若桜町では行政が支援をし、アンテナを立てて良くなったというようなことを聞いている。防災上の観点からも佐治地域など入りにくい地域に入るような方法を研究してほしい。</p>	<p>ラジオの受信障害については、地形など地理的条件によるものの他、電波障害には混信や高圧線や電子機器等が原因となっている場合があり、先ず電波が入りにくい地域について場所や発生状況をNHK鳥取放送局に報告する必要があります。</p> <p>NHKの考え方にもよりますが、例えば中継局を設置するための、市としてできる対応があれば協力したいと考えています。</p>	<p>情報政策課</p>
<p>内閣府が避難所で特別な支援が必要な人を把握するように自治体に求めている。しかし状態を把握するための名簿やカードに病気やケガの有無、障がいの有無、要介護の必要、妊産婦、アレルギーなどの項目がない自治体が多いといった報道があった。本市での実態はどうか。</p>	<p>本市では避難所に避難された方には「避難者カード」に記入いただき避難者の情報を把握することとしています。</p> <p>本市の避難者カードにおいては、血液型や病気・ケガ等の記入項目を設けています。</p> <p>また、医療など必要な項目も設けています。その他の事項については、自由記載の伝言板欄に記入いただくこととしています。</p>	<p>危機管理課</p>
<p>富安の避難所はさざんか会館であるが、市への保健所機能移管で手狭になる。これで避難所機能が維持できるのか。</p>	<p>鳥取市では、災害対策基本法の改正に伴い平成27年に地域防災計画の見直しを行い、その中で、さざんか会館についてはボランティアの拠点施設として活用を行うことから、現在避難場所には指定しておりません。</p> <p>なお、富安近隣の指定緊急避難場所は、富安公園や沢井手公園（鉄道記念公園）、南中学校、鳥取市文化センターなどを指定しておりますので、災害時には状況に応じてこれらの場所への避難をお願いします。</p>	<p>危機管理課</p>
<p>市庁舎建設において多額のお金が動くので不祥事が発生しないよう職員教育に留意してほしい。</p>	<p>職員階層別における公務員倫理研修を引き続き実施するとともに、課内ミーティングや全庁に向けた通知など、不祥事防止に関する職員の意識啓発に努めます。</p>	<p>職員課</p>

<p>鹿野町の団地に自治会への未加入者が多くあり、市報が届けられていない。 市はどのように対応するのか。</p>	<p>現在、鳥取市では、町内会を通して市報の配布を行っていますが、町内会未加入の場合でも、8世帯でグループを作っていただければ代表の方に市報をお届けします。</p> <p>また、市報は、本庁舎総合案内所、駅南庁舎総合案内、第2庁舎、各総合支所のほか、各地区公民館、銀行、郵便局、一部のコンビニエンスストアなどにも置いてあります。詳しくは鳥取市公式ウェブサイト内の「とっとり市報の配置場所」のページ (http://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1105667722125/index.html) をご覧ください。</p> <p>【参考：鹿野地域設置場所】 鹿野町総合支所、鹿野地区公民館、勝谷地区公民館、小鷲河地区公民館、鹿野町総合福祉センター、鹿野中学校、鹿野小学校、こじか園、株式会社ふるさと鹿野、鳥取市鹿野往来交流館、鳥取市西商工会鹿野会館、いんしゅう鹿野まちづくり協議会、鳥の劇場、鹿野郵便局、山陰合同銀行鹿野出張所、JA 鳥取いなば鹿野支店</p> <p>詳しくは秘書課広報室までお問い合わせください。</p>	<p>秘書課 広報室</p>
<p>地域おこしの1つとしてゆるキャラがある。鳥取県はトリピーが活躍している。鳥取市はこいけちゃんのように活躍ぶりがみえない。地域活性化のために鳥取市のゆるキャラを作成し、PRしてはどうか。</p>	<p>本市には「こいけちゃん」をはじめ、すごい鳥取市 PR キャラクター「すご！ウサギ」や鳥取城マスコットキャラクター「とりのじょう」など、特色豊かな PR キャラクターがあります。</p> <p>これらのキャラクターを今後より活用し、ご提案のように本市の効果的な PR を進めていきたいと考えます。</p>	<p>政策企画課</p>
<p>佐治町の地域活性化センターは有効活用されているか。</p>	<p>この施設は、地域住民の文化の向上と福祉の増進に寄与するとともに、口佐治地区の地域コミュニティの促進を目的として平成16年度に建設したものです。最近の利用者数は年間900人～1,200人で推移していますが、本年度は11月末現在で約2,000人の利用があり、これは町民全員が利用したことになります。利用者が増加した一つの理由としては、隣接する旧佐治中学校跡施設の利活用が進んできたことや、グラウンドを芝生化したことによる相乗効果もあると考えています。今後も本施設が有効活用されるよう取り組んでいきます。</p>	<p>佐治支所 地域振興課</p>

<p>鳥取市の木、花、鳥があるが4番目として石（佐治川石）を指定してはどうか。</p>	<p>市の木、花及び鳥は、環境保護や緑化のイメージが想像されることから、市のシンボルとして多くの自治体で制定されていますが、市の石を制定している市は、新城市、糸魚川市など極少数の自治体だけであり、制定する予定はありません。</p> <p>なお、市の石を制定することになった場合は、候補となる石の中から制定委員会などで選定していくことになります。</p>	<p>総務課</p>
<p>公立、私立併せて保育士の無資格者を何人採用しているのか。</p>	<p>公私立保育園における保育士資格を有しない者の採用人数は84名で、そのほとんどがパートタイムなどの短時間勤務です。また、これらはすべて国が認めた保育士の配置基準を満たしたうえで配置された方です。</p>	<p>児童家庭課</p>
<p>山崩れを防ぐためには山の適切な管理が必要である。土砂崩壊防備保安林は、急峻な地形で山崩れが起こると大きな被害が予想されるところの崩壊を防ぐが、竹は土砂を縛り固定する力は弱く、樹木を枯らすので竹を撲滅して樹木を守る施策が防災面からも必要である。また、防災の面からも道路、人家の上の杉・ヒノキの間伐を進められたい。</p>	<p>森林の多くは、急峻な地形や脆弱な地質の上に存在することに加え、梅雨・台風等による集中豪雨に見舞われやすい気象条件下にあることから毎年日本各地で山地災害が発生しています。国や県においては治山事業の実施に加え保安林制度により国土の保全を図っています。</p> <p>本市においても治山事業の推進を図るとともに、適正な森林環境保全のため、間伐、造林事業、放置竹林の林種転換、竹の抜き取り事業等を推進して参ります。</p>	<p>林務水産課</p>
<p>鳥取港等に流れ出る河川のゴミの量が昨年と今年とどう変わったのか。</p>	<p>国土交通省鳥取河川国道事務所によると、鳥取港周辺のゴミの量はデータがありませんが、千代川のゴミの投棄件数は年によってばらつきがあるものの概ね横ばいであり、下流に流出するゴミの量も同様と考えられるとのことです。</p>	<p>都市企画課</p>
<p>佐治川ダムの中に土砂がたまっていてそれを取るにはものすごくお金がかかる。土砂の捨て場がないということだが現状はどうなのか。</p>	<p>鳥取県によると、佐治川ダムの底部では経年的に土砂が堆積し、今後、ゲート操作に支障を生じることが想定されるため、浚渫の方法、残土の処分先及び処理方法等について検討しているとのことです。</p>	<p>都市企画課</p>